

台 灣 總 督 府
情 報 課 編 輯

昭和十七年九月二十二日
九月二十二日
九月二十二日



三 月 十 五 日

双球菌に

チリビアフルスを

を劑として

通劑を適症に使用
するは治癒への捷徑
である……故に肺炎
淋疾等の双球菌性化
膿症には双球菌に對
し特異の菌克服作用
を發揮するス・ビロ
|| トリアノンが實用
される……事實、肺炎
死の低減に……トリア
ノンの貢獻は至大で
ある。

正純
ンチリビアフルス

肺炎・扁桃腺炎

中耳炎・感冒

化膿性婦人科疾患

急性・慢性淋疾

ンチリビアフルス

町修道區東市阪大・元實發造製
店商衛兵五邊田 社會式株

改正陸軍特別志願兵令公布に當りて

情報委員長談

全島民が多年翹望した志願兵制度は、今般改正陸軍特別志願兵令の公布を見て、四月一日より正式に實施せらるゝ事となり、本島統治史上に新なる恒耀を加ふるに至つたことは、邦家の爲寔に慶賀に堪えない所である。

そも兵役の任は皇國臣民のみに賜與せられたる崇高至絶の榮譽にして、日本男子の本懐とする所なるが、本令の公布により全島六百萬島民も亦齊しく大元帥陛下の統帥せらるゝ皇軍の一員として神武の精神を體現し、以て皇國の威徳を顯揚し、國土防衛の大任に就くの光榮を負擔するに至つたのである。

時恰も皇軍赫赫の大戦果は全世界に發揚せられ、暴戻米英の東亞擄取基地は相次いで潰滅し、建設の巨歩進捗して大東亞共榮の平和圖將に成らんとする歴史的大轉換の秋、本令の公布は實に本島青年をして兵役の重責に任せしむるのみならず、普く島民の皇民鍊成への道標となし、本島の進展に資すべき推進力の育成鍊磨を期するにあは、本日の總督諭告に觀ても明かな所である。

曩に準備の爲志願兵募集要綱を發表して、志願者訓練所入所者の願書受付を開始するや、全島青年の熱血は翕然として湧集し、旬日を出でずして早くも十萬を突破するの盛況を呈するに至つた。之誠に躍進臺灣の實相を如實に具現せるものにして感激に堪えないところである。

島民諸子は本令公布の主旨を體して挺身勵精、大聖業參討の光榮に應へ、益々その鐵城奉公に邁進せられんことを切望して已まない次第である。

昭和十七年二月二十八日

目次 (三月十五日號)

- 持別志願兵令公布に當りて……………情報委員長一
- 總督諭告……………二
- 大東亞戰爭の推移……………四
- 馬來方面莫大の戰果―昭和の南進をあらはす昭南島―落下傘部隊の奇襲―西南作戦今や酣―米英閣聯合艦隊を殲滅!
- 南方共榮圈の諸民族……………六
- オーストラリア……………三
- 演劇挺身譜……………
- 竹内 治……………
- 朝鮮志願兵……………
- 黒木俊朗……………

總督諭告

(昭和十七年二月二十八日)
告 第 二 二 八 號

茲ニ改正陸軍特別志願兵令ノ公布ヲ見本島官民多年ノ翹望タル志願兵制ハ本年四月一日ヲ期シ實施セラルルニ至レリ

惟フニ兵役ノコトタルヤ日本臣民ノ享受スル絕對至高ノ國民的榮譽ニシテ今本制度施行ニヨリ本島六百萬ノ島民ハ齊シク此ノ崇高ナル兵役ニ服シ國家保護ノ大任ニ就クノ光榮ヲ擔フニ至ル康福何物カ之ニ如カン

抑モ臺灣統治ノ大本ハ島民ヲシテ皇國臣民タルノ本義ニ徹シ内臺一如眞ニ喜憂ヲ分チ衆庶一心以テ君國ニ盡サシムルニ在リ歷代總督夙夜懈ラズ只管一視同仁ノ聖旨ヲ奉體シテ施政ノ伸張民福ノ増進ヲ圖リ以テ今日ノ成績ヲ見ルニ至レリ就中皇國精神ノ培養ハ官民ノ不斷ニ彊メテ息マザリシトコロ近時其ノ成果頓ニ舉リ偶々支那事變並ニ大東亞戰ノ勃發ニ際リ顯現セル愛國ノ至誠ハ内外ノ齊シク嘆賞スル所ニシテ本制度ノ實施ヲ見ルニ至レリ

所以亦茲ニ存スト謂フベク寔ニ慶賀ニ堪ヘザルナリ

本制度ノ目的タル固ヨリ島民ヲシテ國防ノ大任ヲ負荷セシムルニ在リト雖モ特ニ本島ニ希求スルトコロノモノハ本制度ノ惠澤ニ賴リ島民ヲシテ兵ニ赴クト赴カザルトヲ問ハズ普ク皇民鍊成ノ契機タラシメ以テ統治ノ進展ヲ期スルニ在リ

今ヤ宣戰ノ大詔發セラレ皇國ノ隆替正ニ此ノ一戰ニ懸ル一億國民鐵石ノ決意ヲ以テ聖業完遂ニ邁進セザルベカラズ此ノ秋ニ當リ本制度ノ實現ヲ見ル其ノ意義ノ深遠ナルモノアルヲ覺ユルト共ニ本島ニ課セラレタル使命ノ重且大ナルヲ痛感セズンバアラズ庶幾ハ官民宜シク本制度施行ノ精神ヲ了得シ協力之ガ運行ヲ愆ラズ勵精克ク成果ヲ收メ以テ國運ノ進展ニ寄與センコトヲ

昭和十七年二月二十八日

臺灣總督海軍大將

長谷川

清

時局解説

大東亞戦争の推移 (六)

南方共榮圏建設の基地、昭南島
藻屑と消へた米英蘭濠聯合艦隊

情報課

大本營發表 (十五日午後十時十分)

マレー方面帝國陸軍部隊は十五日午後七時五十分シンガポール島要塞の敵をして無條件降伏せしめたり

耳を傾けましたラヂオに、喰ひついでみた新聞に吾々は、只涙あるのみだつた。英軍司令官パーシバル中將以下七萬三千の英軍兵が、白旗をあげて皇軍の前

にひれ伏し、阿鼻叫喚を極めたシンガポールも静まり返つたのである。このシンガポール攻略の軍事的意義について、東條首相が十六日の議院で説明されたところを簡単にまとめてみると、次の三點である。

- 一、シンガポールが英國東亞の大根據地であつただけに、その陥落後に於いては、皇軍は以前にまして自由自在の作戦をとることが出来るやうになり、印度洋濠洲方面に動きまはらうとする米英海軍を壓へることが出来る。
- 二、米英が首領をとつて扇形に作り上げた日本包圍の陣は、その要にあたる根據地シンガポールを失つてバラバラになつて了ひ、米英は戦ひをする上に直接聯合することが非常にむづかしくなつた。
- 三、重慶軍が我に刃向つて徒らな抗戦を續けて來たのは、米英の援けがあつ

たからであり、シンガポールが陥ちた今日では重

慶は孤立無援となつて抗戦力を失つた。

馬來方面莫大の戦果

山下最高指揮官以下マレー作戦軍は北部東岸に上陸してから、血みどろに闘ひ抜くこと七十日。世界三大要塞の一つである獅子島を攻略して、その收め得た大戦果は人員にして十一萬(俘虜、遺棄死體)約七個師團の兵力を全滅させたことになり、また火砲六百三十門、機關銃二千五百

五十挺などの兵器から見る場合は、實に十個師團に相當し、戦車四百五十輛は完全なる装甲一個師團にあたるもので、其他撃破した飛行機五百五十一機兩獲十七機等々に上つてゐる。之に對して我が軍の損害は戦死三千二百八十三名の外、自爆、未歸還、不時着等による損傷をこめて合計七十二機等といふ敵に比べれば極めて僅かなものであつた。

皇軍がこの大戦果を齎した原因を大きなものだけあげてみると、

- 一、優れた指揮官を持つてゐたこと
- 二、勇敢なる兵士がジャングル作戦に猛訓練を重ね

てゐたこと

- 三、機械化部隊が威力あり、勇敢であつたこと
- 四、航空部隊が極めて旺盛、優秀な戦闘精神、戦闘技術を持ち英空軍を徹底的にやつつけたこと

方共榮圏建設の基地となるやう新しく生かさねばならぬ。即ち十七日には、我建國以來の精神である「八紘ヲ被ヒテ宇ト爲ス」の理想を實現して、昭和の御代の帝國南進を表して昭南島と名づけられたのである。そして最高指揮官山下中將の

シンガポールは軍事戦略上重要であるばかりでなく、通商貿易上から見ても極めて大切な地點で、従來も亞細亞と歐、南印、濠とを繋ぐ位置にあつて、その貿易額は年十億ドルに上つてゐた。従つて之を攻めとつた我が軍は、この地を南

昭和の南進をあらはす昭南島

方共榮圏建設の基地となるやう新しく生かさねばならぬ。即ち十七日には、我建國以來の精神である「八紘ヲ被ヒテ宇ト爲ス」の理想を實現して、昭和の御代の帝國南進を表して昭南島と名づけられたのである。そして最高指揮官山下中將の

時局解説

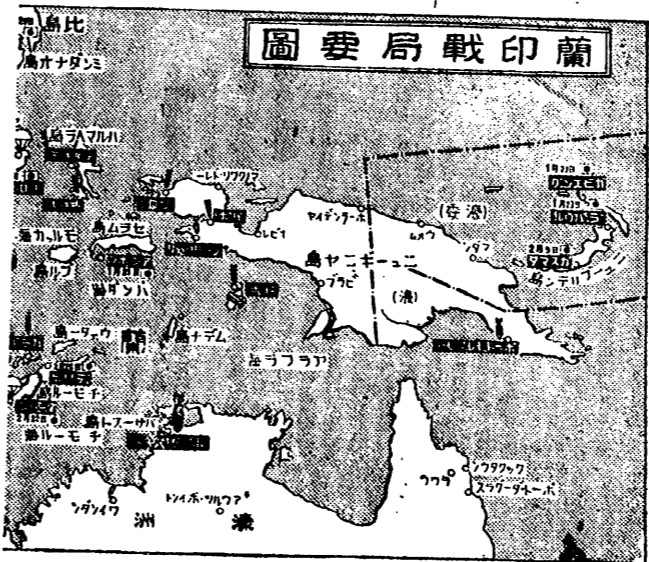
山下最高指揮官以下マレー作戦軍は北部東岸に上陸してから、血みどろに闘ひ抜くこと七十日。世界三大要塞の一つである獅子島を攻略して、その收め得た大戦果は人員にして十一萬(俘虜、遺棄死體)約七個師團の兵力を全滅させたことになり、また火砲六百三十門、機關銃二千五百

五十挺などの兵器から見る場合は、實に十個師團に相當し、戦車四百五十輛は完全なる装甲一個師團にあたるもので、其他撃破した飛行機五百五十一機兩獲十七機等々に上つてゐる。之に對して我が軍の損害は戦死三千二百八十三名の外、自爆、未歸還、不時着等による損傷をこめて合計七十二機等といふ敵に比べれば極めて僅かなものであつた。

シンガポールは軍事戦略上重要であるばかりでなく、通商貿易上から見ても極めて大切な地點で、従來も亞細亞と歐、南印、濠とを繋ぐ位置にあつて、その貿易額は年十億ドルに上つてゐた。従つて之を攻めとつた我が軍は、この地を南

方共榮圏建設の基地となるやう新しく生かさねばならぬ。即ち十七日には、我建國以來の精神である「八紘ヲ被ヒテ宇ト爲ス」の理想を實現して、昭和の御代の帝國南進を表して昭南島と名づけられたのである。そして最高指揮官山下中將の

下に、前内務次官大達茂雄の準備は出来上り、新生昭氏が昭南島市特別市長に任命され、八名の人々が陸軍囑託として發令され、軍政の準備は出来上り、新生昭南島の將來は輝きにみちて來たのである。

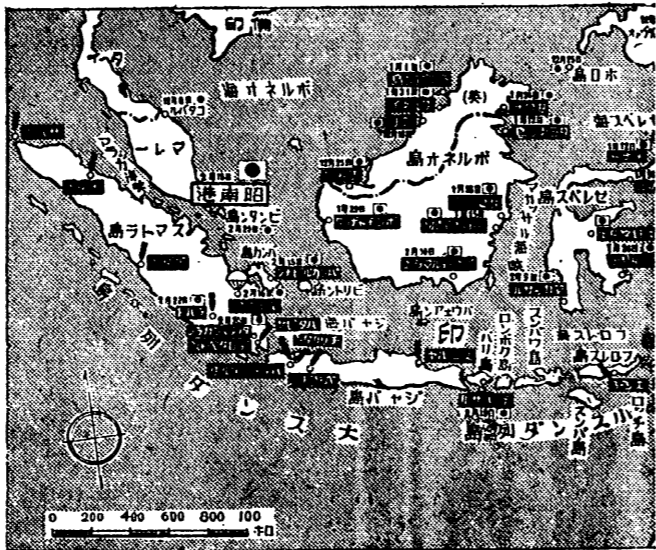


南海の空に咲く華 落下傘部隊の奇襲

一月十一日セレベス島メナドに、二月十四日蘭印最大の油田地であるスマトラ島パレンパンの空に、又二十日にはチモール島クーバン附近に、群り咲いた白い華！それは秘められた訓練を始めてこゝに全世界に示した我が陸海軍落下傘部隊の雄姿であつた。スマトラ降下の陸軍側は十七日パレンパンを、チモール島降下の海軍側は二十一日ブトン(チモール島)を完全占領し、西南太平洋攻略はかうして大膽な作戦、巧妙極まる戦術、勇敢無比の奇襲——空の華から始まつた。

西南作戦今や酣！

二月十五日未明 帝國陸軍部隊、パンカ島ムントク附近に敵前上陸、パンカルビナン占領。
二月十七日 チモール島クバン空襲、兵舎、倉庫二十棟を炎上、三千噸級汽船一隻撃沈。



二月十七、八日 帝國海軍はスマトラ方面に敵特務艦一隻を撃沈、英驅逐艦一隻、掃海艇一隻及び英蘭船各一隻を拿捕。
二月十八日 帝國海軍航空部隊スマラバヤ空襲。米十三機を撃墜。驅逐艦五隻

に命中弾を浴せ大損害を與ふ。(我が方未歸還二機)
二月十九日 帝國海軍航空部隊薩洲ポトグーヴィン空襲。所在敵機全部二十六機を撃墜。六千噸級特設巡洋艦一隻、驅逐艦二隻、驅逐艇一隻、輸送船九隻を撃沈、驅逐艦一隻を大破。(我が方未歸還二機)
二月十九日 帝國陸軍航空部隊、西部ジャバのバイテンブルグ飛行場を強襲、米機二十七を撃墜破(我が方損害なし)。帝國陸軍航空部隊、ジャバ島バンドン西飛行場を猛襲、米機十九撃墜破。(我が方未歸還二機)
二月十九日 帝國陸海軍部隊、バリ島南部の要地デンプサルを完全占領。
二月二十日 帝國陸軍航空部隊、西部ジャバ、カリジャチ飛行場攻撃。米蘭機二十七を撃破。
二月二十日未明 帝國陸海軍部隊、チモール島クーバン及デリー方面に敵前上陸。
二月二十日 帝國陸軍部隊、スマトラ島東南端の要衝タンジュンカランを占領。
二月二十一日 帝國海軍航空部隊はニユギニヤ島北東方數百哩の洋上に航空母艦を含む有力なる敵部隊を發見。敵戰鬥機群と

時局解説

猛闘、敵機十を撃墜、我が方九機は機もろとも敵航空母艦及軍艦一隻に掃討、之を大破炎上せしめたり。

（右航空母艦は恐らく沈没せしものと認めらる）

二月二十二日 帝國海軍航空部隊チモール島附近に於て蘭敷設艦ヤーン・フアン・アラケル型一隻、三千噸級敵艦一隻、爆破炎上、二萬噸級敵艦一隻爆沈。

ンゾルグ、チリリタン、バタビヤ各飛行場を反復空襲し敵機六十八を撃墜破。バタビヤ港攻撃部隊は敵艦船群を猛襲。輕巡一隻、三千噸級汽船二隻に多数命中弾を浴す。（我が方大破一機のみ）

衝ベンクレンを完全占領。

二月二十五日 帝國陸軍航空部隊西部ジャバ、カリジャチ飛行場を強襲、残存敵機三十七を撃墜破。

三月二十五日 帝國陸軍航空部隊ビルマのマングレ一及ミンガラドン飛行場を強襲敵機三十四を撃墜破。（我が方未歸還三機）

二隻を撃沈、他の一隻を大破、更に逃げ去らうとする敵巡洋艦二隻を追つて、午前三時十五分再び交戦。この海戦で敵の蒙つた損失は驅逐艦四隻（米二、蘭二）が沈没、巡洋艦二隻、驅逐艦一隻が大破されて戦闘力を失つたに對して、我が方は驅逐艦一隻が損害を受けただけで戦闘航海には差支ない程度にしか過ぎなかつた。

米英蘭聯合艦隊を殲滅!

一、バリ島沖海戦

二月二十四日 帝國陸軍航空部隊ジャバ島主要航空基地バンドン、バイテ

帝國海軍水雷戦隊に屬する〇〇驅逐隊驅逐艦二隻は二月二十日午前零時、バリ

島東方のロムボク水道で、巡洋艦二隻、驅逐艦二隻から成る米英蘭聯合艦隊に出合し、零時四十分には砲火を開始、戦闘十分間で敵驅逐艦

二、スラバヤ沖海戦、バタビヤ沖海戦

エンドウ沖海戦、ジャバ沖海戦、バリ島沖海戦等で二月二十日までに、我軍の

時局解説

爲撃沈破された敵艦艇は合計して、巡洋艦十二隻、驅逐艦十一隻の多数に上つてゐるから、初めの西南太平洋艦隊は既にその大半を撃滅されてゐるわけである。この頽れた勢を盛り返さうとあわて騒いだ米、英、濠などは次ぎ／＼に援けの艦隊を送り、あるたけの艦艇を掻き集め、米はグラスフォード少將が指揮する残存米西南太平洋艦隊、英はリアリ

み立て、之を蘭のヘルフリツ中將が指揮して、けなげにも我が輸送船の護送にあたる帝國蘭印方面艦隊の主力に立ち向つて来た。即ち二十七日夕刻より二十八日にかけて行はれたスラバヤ沖海戦及び三月一日早朝のバタビヤ沖海戦が之である。この兩海戦に於いて敵のうけた損害は次の通りである。

水艦七隻、驅逐艦八隻（内二隻大損傷擱坐）、砲艦一隻、掃海艇一隻（ジャバア沖海戦にて撃沈と傳へられたヒューストニ型一隻はオーガスタ撃沈の誤。ジャバア沖海戦で撃沈と發表せられたデ・ロイテルはトロンプ型と思はれる。又本海戦で撃沈せられた英甲巡エクスエタ

損害をうけたのに對して、敵聯合艦隊を殆んど全滅させて了つたといふ事實は、寔に古今未曾有の大捷といふ外なく、殊に本海戦が、戦勃發以來初めての主力艦同志の堂々たる戦であつたことは意義深いものである。今後この廣漠たる大海にも、わが皇軍の御稜威輝く軍艦旗に脅へて、討ち洩らされた敵艦が逃げ廻るだけであらう。

隊、英はリアリ一司令官をいたたくアンザツク、ホース（濠洲）、ニュージーランド聯合艦隊）の二つより組

一、撃沈せる敵艦隊主力。ヒューストン（米甲巡）エクスエター（英甲巡）パリス（濠乙巡）ホバート（濠乙巡、轟沈）、デ・ロイテル（蘭乙巡）ジャヴァ（蘭乙巡）

本海戦に於いて我が軍が掃海艇一隻沈没、驅逐艦一隻小破といふ極めて僅かな

（三月二日）



(野 外 行 進)

朝鮮志願兵 下

黒木俊朗

訓練所を巣立つて

野山が一面冬枯に彩られた十二月の下旬、沃川農業實習學校の増尾先生は李仁錫からの手紙を受けると、待ちかねたやうにして封を切った。

拜啓 いよ／＼寒冷の候、先生には如何御暮しでございませぬか、定めし御壯健にて御多忙の事と遙かに拜察申し上げます。降つて小生事六箇月の訓練所生活を無事に終了、十二月一日を以て入營致しました、朝鮮の歴史に輝く一頁を

印しました陸軍特別志願兵の第一回卒業生としての光榮を、擔ひました私は、卒業に際して特に優良證を授與せられ、感激に堪へません、特別之と云ふ取柄もない自分が、この榮譽に浴したることは、これみな師の恩、親の恩であると深く感じて居ります。人は貧しい家庭に育つてこそ、身の爲であるといふ／＼感じました、貧しきが故に私の歩いた道は決して平坦ではありませんでしたけれども、限りなき熱愛をもつて育て下さいました親の恩と云ふものは、實

で一きは目立つ李二等兵の旺盛なる軍人精神に至つて戰友を驚嘆させ、志願兵の爲萬丈の氣を吐くものがあつた。

賜暇歸郷

聖昭和十四年五月一日、ブラの青葉が微風にゆれて山の峽間の部落に初夏の日さしの温い日の午後、星も二つになつた李二等兵が突然我が家へ歸つて来た。

「お父さん、お母さん唯今！」
庭先から彼は元氣一杯の聲で言つた。母がころける様に門口に出て来た。父は庭の畑から駆けつけて来た。

「お父さん、突然ですが、僕はいよ／＼戰爭に行く事になりました。出征するのです。それで志願兵だけ特別の計ひを頂きまして、皆様にお別れに歸つて来たのです。御恩返しもせず、此の上又御苦勞をかけるかと思へば、誠に申譯がありませんが、……これも御國の爲です、どうか御許下さい！」

「いや／＼御國の爲だ、俺達の事は何も心配せずに安心して行つてこい！」

「お前が戰爭に行くのは家の名譽だ。お前が志願した時から俺達はチャント覺悟してゐるん

に偉大であるとしみじく考へさせられました。家庭に於ける親の恩に優るとも劣らぬものは師の恩であります。自分が今度の榮譽に浴し得たるは、普通學校時代に導いて頂いた先生の御蔭であり、農業學校時代に鞭撻下さいました先生の賜であり、そして訓練所に入りましてからは、所長殿はじめ各教官の情ある御教導こそ自分を今日あらしめたものとして、深く／＼感謝致してゐる次第であります。此の海より深く、山より高い親の恩師の恩に報ゆる爲に、自分は今一層奮勵努力をもつて、君國の爲に働かねばならぬと決心して居ります。

過日の内地旅行は實に楽しいものであります。しみじく

皇恩の有難さを體得し、日本の偉大さを知りました。あの感激こそは永久に忘るゝことの出来ぬものであります。今や皇軍の一兵として訓練所を巣立ちました自分は、此の御恩に報ゆる爲粉骨碎身の覺悟を以て當らねばならぬと覺悟を以て居ります……

× × ×

湧き出づる李仁錫の眞面目さは、全文面に現はれてゐる、何事も積極的に行動し、進取の氣象に富む彼の性格よりほとぼしる一語一語は強く増尾校長の胸をうつた。涙ぐましい教へ子の決心は我が子の入營の如く嬉しかった。

その頃志願兵の新二等兵は歩武堂々、無敵皇軍としての猛訓練を受けてゐた。そしてその中



(写真説明) 上より訓練所に於ける炊事當番、食事、洗濯

だ、安心して立派な手柄を立て
くれ
父と母が、我が子を戦地に送
る言葉としてまことに健氣な言
葉であつた。未だかつて朝鮮の
歴史にはない、我が子を祖國の

難に赴かせる此の事實を前に
して、微塵も心の動揺を見せぬ
父、そして母、然し李一等兵が
解かに家の事を顧みる時、年老
ひた父母と、一昨年喪つた妻、
去年生れたばかりの長女、他に

四人の弟妹……一家八人の生計
を思ふ時、一坪の土地も持た
ぬ小作人、餘りにも惨めである
と思はれた。
殊に自分が戦死した後の事が
思ひやられるのだつた。

が軍はこの共産軍の本據を覆滅
し、その息の根を止めるべく、
五月中旬、各部隊は南北より一
齊に行動を起し、竹鼻部隊は北
から進撃、泥濘隊を埋むるぬか
るみを踏み、或る時は標高一萬
尺に近い險峻な山脈を縦ひ、山
西特有の黄砂を浴び乍ら、勇壯
無比の山岳戦を続けつゝ、敵を
包圍撲撃するのであつた。

義ではないぞ、卑怯な真似をし
て志願兵の名譽を傷つけるやう
な事があつてはいけないが、思
ふ存分一杯の働きをして大い
に半島青年の意氣を輝はし生き
て歸れるものなら歸つて来い。
俺は、いや此の部落全體はみん
なで武運長久を祈つてゐるぞ」
とまるで我が子を訓すやうに力
強く勵ますのだつた。

は来た。沃川驛頭を埋め盡し
て、尙足りない人の波、旗の波、
軍歌の合唱、萬歳の風はまるで
逆まく怒濤の如く愛國、熱血の
叫びは人々の喉も破れてしまふ
程だつた。
此の人ごみの中で妻の柳西粉
は愛兒貞淑を抱いて
「それ貞淑、お父さんとお別れ
だよ、萬歳！」
「お、貞淑」
と李一等兵は、紅葉の様な我が
子の手を執つて

と口には言はねど心で泣いてニ
ツコリ笑つた李一等兵、折柄起
る萬歳の風、
「父も、母も、妻も日本人の
家族たるに恥しくない様に頼む
ぞ……」
「俺は立派に軍人として死んで
くるから……」
列車は民族の出征軍人に乗せ
て、人と旗の波の風の中を静か
に進んで行く。

山西の殘敵掃滅戦

壯行會が面の有志によつて行
はれた。郡西面、杏全朝鮮に於
ける有史未曾有の「出征」であ
り、民族の出征軍人を送る「送
別會」であつただけに感激はま
さに爆發的であつた、有志は交
々立つて彼を激勵した。激勵の
風の中に若い李一等兵はしばし
我を忘れてゐるのであつた。い
や後我の感激に酔つてゐた。
かくて五月二日慈々出征の日

「これ貞淑、お父さんの顔をよ
く見て覚えて置けよ、これが此
の世の見納めだ、見よ見よ……
此の慈誠なる歡呼の聲に送られ
て、お父さんはどうして生きて
おめく還られやうか、大きく
なつたら會ひに来いよ、東京の
靖國神社へ、判つたか」

かくして李一等兵の屬する竹
鼻部隊が、軍旗と共に着いた所
は山西省だつた。山西省の抗日
共産軍は數回に亘る我が軍の攻
撃によつて、殆んど其の主力を
失つたのであるが、殘敵第百二
十師が主體となつて我が軍の後

方を攪亂しようとするので、我
が軍はこの共産軍の本據を覆滅
し、その息の根を止めるべく、
五月中旬、各部隊は南北より一
齊に行動を起し、竹鼻部隊は北
から進撃、泥濘隊を埋むるぬか
るみを踏み、或る時は標高一萬
尺に近い險峻な山脈を縦ひ、山
西特有の黄砂を浴び乍ら、勇壯
無比の山岳戦を続けつゝ、敵を
包圍撲撃するのであつた。
六月廿一日の夕刻だつた。
竹鼻部隊に明朝を期して決死
を以て敵の重要據點を占領せよ
との命令が下つた。
敵は早くから此の地方に蟻聚
してゐた第三百五十九旅(衛立
煌麾下)の精銳である、而も味
方の何十倍と云ふ軍勢であつ
た。
部隊長は全員を集めて訓示の



(入手の銃剣と課學・明説眞實)

後、「お前達は今の中に故郷に
手紙を書くがよい」と明日の決
意を促した。
兵隊は皆父母に、妻に、愛兒
に最後の決意をこめた便りを書

いた。
「おい李一等兵、お前は書く事
がないのか」
と、鐵砲を抱いて、ちつとしてあ
る李仁錫の肩を隊長が叩いた。

「はい、自分は今さら、何も書
く事はありません」
彼は故郷も何も思ひ出さず
とした。戦地に来て間もなく接
した老中尉が、内地から来た手

紙を開封もせずドラム罐の底で
焼きすて乍ら……いぶかる彼に
俺はいつも手紙は讀まずに焼き
捨てる事にしてゐる。今更ら故
郷の事や、家族から何も聞く事
はない、又言つてやる事もない、
俺はたゞ戦争することばかりを
考へて居ればよい」
と言つた言葉が思ひ出されて、
彼は何かしら胸の迫るのを感じ
た。

「さうか！ 然し今日の敵は新
鋭らしいから覺悟せんければな
らんぞ」

「はい、腕が鳴ります。明日は
思ひきり此の銃剣で敵兵のドテ
ッ腹を突きまくりませう」

戦地に着いて一箇月ばかりし
か経つてゐないけれども、幾度
かの激戦で、彼は文字通りの勇
士になつてゐた。

手榴彈の火の海で

時は正に昭和十四年六月二十
二日の朝
早くも我が軍の襲撃を知つた
敵は、天候を利用して築いた陣地
から機關銃と迫撃砲の釣類打を
續ける。我が軍はデリッくと敵
前真近に迫る。二百米、百米、そ
の時敵は得意の手榴彈を雨と降
らせる、一面火の海となつた。

キリツと頭で結んだ鐵甲、背
囊を背負つて、鐵砲を擲んで起
ち上つた李仁錫の姿は、神々し
いまでに勇ましかつた。
「志願兵強し」の聲はもう此の
頃から聞えてゐた。その中でも
李仁錫は一段と目だつてゐた
が、寡獸の彼は、自分の手柄を
語らうとはしなかつた。

……と隊長の「突つ込め」の命
令……李仁錫は真先に突つ込ん
だ。
手榴彈の、火の海の中に躍り
込んだ李仁錫の姿はまるで血塗
りであつた。
一人突き、二人突き、見る見
る中に李仁錫の小銃の先につけ
た銃剣から、血飛沫が咲いた。
悲鳴をあげて斃れる敵の返り血
が、いよ／＼彼を血塗りにして
いつた。獅子奮迅、縦横無盡の
奮戦——志願兵ここにありとば
かり突きまくる彼の姿は鬼神も
避くるばかりだつた。

敵の機關銃が、彼の鐵甲で切
ね返つた。
敵彈の命中した水筒から水が
散つた。
然し精銳を誇るだけに、さす
が敵兵も勇攻だつた。強かつた。
たゞ味方がこれに數倍して勇攻

であり、強いと云ふだ
けだつた。
敵の幾つかの眼が李
仁錫に注がれた、この
強い相手を斃すこと
は、敵には絶対に必要
だつた、敵の一人が非
常に冒險を冒して、李
仁錫に手榴彈を投げつ
けた。彼等の手榴彈投
法は鮮やかだつた。
「呀……」

李仁錫は左腰部に鈍
痛を感じた。やられた
と思つた。貫通した傷
口から血が迸り出た。
「うむ……畜生！」
彼は屈しなかつた。
よろめいたがすぐ立ち
直つて、五、六歩動い
たと見る間にタツタ今
彼に手榴彈を食はせた

年四十治明業劇

日本ペイト

北台 天奉 阪大 京東

敵を突つ伏せた……が、そのまま、彼もその場に倒れてしまつた。

かうして肉弾又肉弾、壯絶極まる白兵戦によつて、敵陣を血の海、屍の山と化し、見事に占領した。此の累々たる屍の中に敵兵を平さしたまま、倒れてゐる李一等兵の姿を、山本上等兵が抱き起した。

「李一等兵、やられたか」

「うむ 残念だ」

「しつかりしろ、喜べ、我が軍が占領したぞ、目的の據點を」

高山上等兵は傷口をあらためて見ると意外の深傷である。

「何か云ひ残す事はないか」

「何もない、永く國家に御奉公も出来ず、聖戦の中途で斃れたのが残念だ、もつと御奉公がしたかつた。……それから訓練所でお世話になつた海田大佐殿

に、訓練所の皆様によく傳へて下さい、……訓練所の後輩達も立派な皇軍に……」

「東はどちらですか」

と、高山上等兵が抱いたまま、東を向けてやれば、震へる両手を差上げて、息もたへん

「天皇陛下萬歳！ 々々々々」

と三唱しニッコリ笑さへ浮べて崩れて行つた。

あゝ、何と云ふ壯烈な最後であらうか、武者で通る高山上等兵も、しばし涙で顔を上げる事は出来なかつた。見守る隊長、戦友はその屍の上に慰問袋に入つてゐた日章旗を靜かにひろげて、彼の顔を覆ふたのであつた。

勇士の遺族

かく壯烈なる戦死をとげた李一等兵は特旨を以て上等兵に進級、山西の野に護國の英霊として、戦友の手により墓標が建てられた。

此の通知を受けた故郷の崑崙守は此の事を遺族に通知しなればと、沃川警察署長その他内鮮人有志と共に、七月六日の午後十一時遺族を訪ねたのである。

半島の志願兵が戦死した。我等の李仁錫が、朝鮮最初の靖國の神となつた。

然し志願兵の父母とは云へ、半島の習慣としてわが子の、わが夫のわが兄の戦死を知つては、悲しみに突き落されて哀號と、身も世もなく歎くであらう。さぞ泣き叫ぶだらう。勇士の家族があまりにも見苦しくは……と若い崑崙守は躊躇しては……

乍ら。

「御子息が名譽の戦死を遂げられたのです。私達はその御通知に参上致しました」

「六月二十三日午前零時四十五分、山西省聞喜縣腰莊附近の激戦に於て、壯烈な戦死を遂げたと云ふ公電が今から二時間前に届きました」

そこまで言つて、句切つた崑崙守は、今にもアイゴウウの慟哭が、遺族の咽喉から叫ばれるのではなからうか、更に又いかなる狂瀾が展開されるであらうかと、人々は思はず耳を覆ひ、眼を閉ぢたい氣持だつた。

ちつと深く沈黙したまま、崑崙守の顔を見てもる遺族達の眼が潤んで行つた。

崑崙守は涙の滲む眼で父の、母の、妻の顔をみつめ乍ら、ピタリと両手をついて、

「御國の爲に戦つて下さつた李仁錫上等兵と、遺族の皆様へ不肖私が、全國民に代りまして厚く御禮を申し上げます」そしてはら／＼と涙を膝の上に落した。

「……仁錫が……戦死……さうでしたか。とう／＼戦死しましたか。覺悟はつくにして居りましたか、こんなに早く……戦死するとは思ひませんでした」

父の聲は緩く、

「夜分遅い所をわざ／＼有難うございました、息子は御國の役に立つてくれたでせうか」

この時、母が、

「郡守様、仁錫ほどのやうな働きをしてくれたでせうか、人様に笑はれるやうな死に方ではなかつたでせうか」

「立派な働きでした。軍人として恥かしくない戦死です。公電には壯烈な最後とありました」

驚き悲しむと思つてゐたの

に、此の健氣な両親の言葉には竝る者みんながビツクリした程であつた。

妻の柳西粉は

「……かわて覺悟して居りました、遺児を軍人の子として育て上げて行く決心です」

とその決心の程が二十二歳のうら若い未亡人の口から、何の淀みもなく告げられた人々は自分達の疑懼が夢に終つた事で、わづかにほつとした。そして感動が新たにこみ上げて来た、一同は目つと、熱涙にむせぶのであつた。

全鮮に不滅の光

李仁錫上等兵名譽の戦死の報一度傳へられるや、半島はもとより、遠く内地の人々からその忠烈を稱讃する電報文は、日に日に重ねられて一萬通、そして亦遺族に集まる社會的同情

は、涙の慰問金となつて、驚異の數字はまさに一萬圓、この赤誠溢る、戦後の後援と、同情こそは、彼等が榮えある帝國軍人なればこそその感全鮮の二千五百萬の人々に深く植まつた。

彼の遺骨は十月三日、原隊に凱旋した、そして原隊に於ける合同葬、次で魂の故郷志願兵訓練所の所葬、そして京城に於ける郷土葬は盛大にとり行はれたのであつたが、郡守に伴はれて龍山に向つた遺族は、李仁錫上等兵の遺骨を前にして、はじめて涙をこぼしたのであつた。

慈愛の父、南朝鮮總督が、彼の英霊の前に首を垂れ、心から禮拜されて涙に溢る、涙をそつと、白いハンカチで拭かれた

時、遺族や参列の人々は堰きく

る涙を押し止める事は出来なかつた。

初夏の陽光に歡呼の熱涙を浴びて勇躍出發した沃川縣へ、遺骨が歸還した日、——かつて千

切れよとばかり旗を打ち振つた人々は天地崩壊として秋深し此の日、限らない悲しみに喪服を濡らし、深く首を垂れて、寂として聲なく「民族の英雄」を迎へたのであつた。

この日執り行はれた郡民葬は會するもの實に二萬を越え、如何なる名士の葬儀も及ぶべくもなく戦場盛大に行はれた。

草深い山家の名もなき李千典の家は、その子李仁錫上等兵の生家として全鮮に……いな全國に語り傳へられるに至つた。

李仁錫上等兵！ 永遠に護國の社に神として祀られ、半島人として最初に賜つた金鷄勳章功七級、勳八等と共に柄として朝鮮の歴史の上に不滅の光を輝かしてゐる。

内鮮一體の魂と血の交流の上に美しく、あくまでも高く聳ゆる李仁錫上等兵……

(臺灣に於ける志願兵募集切の三月十日記事)

南方共榮圏の諸民族



皇軍勇士に鶏と家鴨を贈つて感謝の意を表すビルマ、モルムーンの市民達

南方一億アジ ア民族の解放

將來が大東亞共榮圏内に包含さるべき諸民族は、等しくアジア民族として共通の血を受けてゐるとはいへ、その民族的構成はまことに多岐に亘り、歴史的、地理的條件によつて宗教習俗また種族を極めてある。

泰、佛印、馬來、比島、關印等今次大東亞戰爭の進行されつつある地域の總人口は、一九三五年現在において約一億一千四百六十萬その平均密度は一方軒につき僅か三〇・〇、わが人口密度の一四四・六に上るのを考へれば、南方諸地域の如何に拓かれざるかを窺ひ得るであらう。而も此處に重層せざるを得ないのは、これ等東亞共榮圏を構成する諸民族の總てがいづれも黄色モンゴリヤ系に屬するとみられる事であつて、安南人、華人、ビルマ人、マレー人等いづれもその例外でない。我々が屢々耳にするこれ等住民の皇軍將士に對する狭くましい愛國的態度は、決して故なきことではなく、むしろ歴史の必然が指示する所であるといへよう。

一、東亞解放の先 驅者としての泰 民族

東亞共榮圏内における最も協力的な要素としての泰國は、人口千四百九十七萬（一九三八年現在推定）、その基幹民族はいふ迄もなく八百萬のタイ族であつて、同民族は遙かに南部支那より南下、十七世紀頃より中部及北部泰に進入、先住民族のモーン及びクメール兩族に楔入し、漸次その主導的地位を確保した。泰民族はその歴史が示す如く蒙古人系に屬するものといはれ、先住のモーン、クメール及び支那人等各民族の血

を容れてゐる。上に述べた如く人口の絶対数は著しく少ないが（泰の資源は優に八、九千萬の人口を包含し得るといはれる）、その人口増加率は南方諸領域中首位を占め、民族的生命の若さを示してゐる。一般に人口の絶對的過少は民族發展の障礙ではあるが、米英の擯取勢力の驅逐された今日、泰國經濟の開發、それに伴ふ國內生産力の飛躍的増大は、泰民族にとり眞に多幸なる將來を約束するものといはなくてはならぬ。泰はその地理的條件が民族移動の中心に位し而も定住的條件を備へ、加ふるに泰民族それ自體が寛容であつた事

から、國內において種多な少數民族を有してゐる。即ち先住民族クメール族十六萬、モーン族六萬を始めとし、マレー人四十萬以下、ネグリット、オストロネシア、モーン・クメール、西藏、ビルマ、タイ、支那

等各民族系約三十種を算してゐる。近來擯揚し來れる泰國民主義と、かゝる民族的前提が如何に解決されるかは興味ある問題であるが、基幹民族たる泰民族の民族性の大まかな包容性からみれば、圓滿な自然的解決が豫見され得る。

二、佛印、ビルマ、 マレーの各民族

大東亞戰において當初より協力し來れる佛印の住民は、主として千六百六十八萬を占める安南人より成つてをり、その他二百九十二萬のカンボヂヤ人、百三十七萬のタイ族、百一萬のインドネシア族以下約十四、五種の複雑なる民族構成を有し、總人口二千三百七十五萬と稱せられる。佛印の基幹民族たる安南人は、民族的にはタイ族と同様な系統に屬する。英帝國の壓政と擯取の壁を隔て、遙かに舊秩序崩壞の迫りつゝあるを知るビルマは、人口約千四百六十六萬、その基幹民族はいふ迄もなく西藏より南下せるチ

ベトナム・ビルマ族のビルマ人で總數約一千百萬、安南人、タイ人と並んで熾烈な民族的意識の保持者、英帝

國打倒に最も期待される可き民族の一つである。マレー(總人口約五百五十萬)の主要民族はマレー



マニラ街道風景(比律賓領から果物を買ふ兵軍勇士)

人二百二萬で、南方諸島嶼に散在する住民と同一系統に属し、廣くオストロネシア族と呼ばれる。比島は低

比島の原住民はネグリート族であるが、その後インドネシア系の住民、主としてマレー人の移住により驅逐され、現在は三百年に亘るスペイン領有の結果白人との混血が行はれ、所謂アイリツピン人の成立をみた譯である。比島の總人口は一九三九年現在で約千五百九十八萬、比島人はその九

十三萬、その半數が回教徒である。基幹民族としては勿論前者が壓倒的であり、比島文化も高いから大東亞諸民族中宗教問題については特殊の取扱ひを要する。蘭印は總人口六千七十三萬(一九三〇年調査)質量共に支配的な民族はマレー半島より後來せるマレー人であり、數次の民族移動によつて錯綜せる諸民族の分布をみたことは、大陸諸國と同様である。蘭印内のこれ等小民族の根幹となる民族は、大體ネグリート、プレ・ドラヴィダイアン、ネシオット、プロト・マレー及び現在壓倒的多數を占める黄色モンゴリア系マレー人で

ある。蘭印における住民の種類は十九を算へられるが、比島は頗る區々で、ジャバの中部及び東部に居住するジャバ族が最も文化程度高く、低度のものに至つては最近漸く石器時代の域を脱したニューギニアのパプア族がある。宗教は回教徒が全人口の九割を占める。

る種族を包容して居るが、宗教は回教徒の多い關係上回教が盛んである。

四、民族の統合は容易

以上において略々明かになつたやうに、大東亞共榮圏内の民族分布状況の特徴は、表面上その複雑性に存するかの如くみられるが、その複雑性の素因ともみられるものを探つてみれば、元來印度支那半島の沖積地帯及び南方諸島嶼の豊饒な地域と、その特殊な氣候は古來諸民族移動の誘因となり、北方諸民族は西藏より、或ひは南部支那より印度支那半島の脊梁山脈に沿つて

南下し、印度支那の豊饒な沖積平原を経て、此處よりいづれも南方水域に向け放出されたのである。そしてこの如き波は幾回となくこの地域を襲ひ、移動民族は徐々に相互に同化混血しつつ、各所に定住した。この地域に對する民族の移動侵入は最近に至る迄夫々の歴史的形式においてなされたが、現實において最も重大な意義を有するものは歐米の帝國主義的支配と、支那民族の商業的進入である。この如くして行はれた民族分布の錯雑さを、更に助長し保持したのは熱帯特有の交通の困難であつた。しかしながら、かゝる消

極的條件に反し特筆大書する可きは、これ等多數の種族間に同化が相當程度行はれてをり、彼等は從來多くは國家的統一の經驗が薄く或ひは皆無である關係から、自覺せる基幹民族の下にこれを國家的に統合することが比較的容易とみられることである。

この點よりして共榮圏内において比島も高く、民族意識の旺盛な泰、ビルマ、比島等諸民族の新秩序建設への役割は、正に高く評價されて然る可きであらう。

五、抜く可からざる勢力—華僑

かゝる南洋の民族分布

英領北ボルネオは人口約二十八萬、ズスン、ムルツト、バジャウの主要三種族から成つてをり、サラワックは人口四十四萬その大部分はマレー人である。ブルネイは人口約三萬中馬來人約二萬七千、以上三地は勿論夫々マレー人の他に雜多な

那半島の脊梁山脈に沿つて

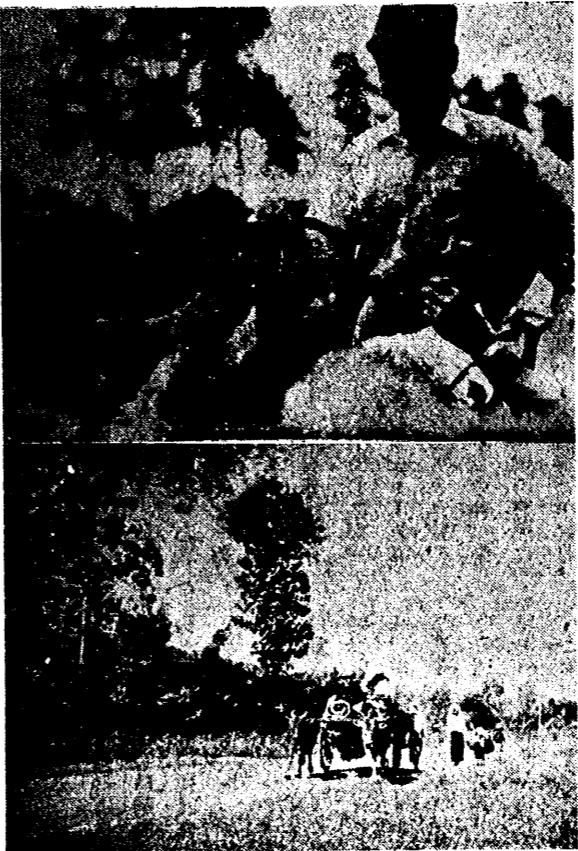
かゝる南洋の民族分布

を、更に特色的たらしめて
開は、實に西歐諸列強の東
なるのはいふ迄もなく華僑、
漸と共に始まつた。豊かな
の存在である。この地方に
る資源と極端に低劣な労働
對する支那移民の本格的展
力の存在を前にして、食養

な征服者共は北方大陸に打
ち棄てられてあつた豊富な
支那苦力の存在に目をつ
けた。香港に設けられた

「監獄部屋」からこれ等憐む
可き「豚の子」の群は、或ひ
はマレーへ、ジャバへ、絶
へず送られた。アフリカ
における破廉恥行爲（あら
ゆる詐略による誘拐、攫
致、奴隷賣買）は、支那大
陸全般に亘つても亦繰り返
されたのである。かくて數
世紀に及ぶ華僑の苦難の歴
史の第一頁が開かれたのだ
つた。

東亞共榮圈内における華
僑の数は、僑務委員の調査
によると概算約六百廿萬と
稱される。すなはち泰國に
おける二百五十萬、英領マ
レー百七十萬、蘭印百二十
五萬、佛印三十八萬、比島
十一萬、ビルマ二十萬、英



馬來の住民は皇軍のマレー破竹の進撃に果
物を持つて勇士にサーピスした（マレー戦
線）

ビルマより安住の地を求めて泰國に來る
ビルマの住民（ビルマ戦線）

領ボルネオ七萬五千の内容
となり、泰國においては全
人口の二二%、英領マレー
においては三九%、英領北
ボルネオは二八%の多數を
占めてゐる。その生産的投
資は約十三億圓、商業的投
資は約廿五億圓、總計約四
十億圓である。以てその經
濟的勢力を窺ふに足るであ
らう。

かゝる擴大し來れる華僑
の勢力に對し、歐米の植民
地政府は當初の歡迎的、利
用的態度を拋棄し、次第に
移民の抑壓的態度に出た。

制限法その他米政府の華僑
驅逐策等々がある。
その資本主義的侵略の當
初に當つて、支那の社會的
弱點を利用し徹底的に支那
移民を擯取し、これが基礎
において東亞における富強
を確保した英國が、先年の
世界恐慌を契機として一轉
華僑抑壓に出で來つた事

は、その利己的態度を暴露
して餘すところがないとい
へよう。
從來華僑は本國よりの大
量の移民により、その土地
において比較的雜婚の必要
なく、他の南方諸民族と異
なつて住民と同化せず、且
つ又その經濟的勢力が擴大
し來つた所から往々にして

臺灣總督府殖産局物價調整課編

B6判クロース
加除式約五千頁

豫約定價 拾圓

台灣價格關係法規類集

內府實總灣臺
所行發報時灣臺

內容

關係法令・國家總動員法・各種法令の運用に關する通達・通牒・法令に關する質疑應答・公定價格

住民と摩擦を起すことが多
い。特に近來國粹的傾向の
増大した泰國においては、
一八二七年の入國制限法を
始めとし、入國稅改正、歸
化法改正、抗日行爲彈壓そ
の他教育思想對策等々東亞
共榮圈内華僑問題は、差し
當つて此處にその集中的表
現を見出したかにみえる。

泰國における養豚業、泰、
佛印、比島における精米業、
泰、比島における製材業及
び一般に南方における漁業
等、いづれも華僑の支配下
にありといふ可く、更に壓
倒的なのは流通部門におけ
るその勢力であり、貿易に
おいては漸次大資本の制壓
下に停滯の形であるが、國

内流通機構の凡ては殆んど
華僑の手中に收められてお
るといつても過言ではな
く、泰國における國內の露
吉商人から中小商人は、そ
の九割九分迄華僑によると
いはれる。また金融におい
ても銀行を除く庶民金融機
關は悉く華僑の經營によ
る。

かくて社會的な特に宗教
的な要因から、農業を除い
ては一般經濟活動の外にあ
る住民と、彼等の支配者の
手によつて行はれる近代的
諸經營の中間に介在し、南
方諸國內經濟機構の現段階
を支へてゐる華僑の存在こ
そは正に注目し値ひするも
のがある。

六、英米蘭人の支配者たち

最後に數世紀に亘つて東
亞に腰を据え、これ等民族
を現在みるが如き悲慘なる
原始的生活に強制、その權
性において淫靡なる物質文
化を打ち樹てた英米蘭の支
配者共はいま正に皇軍の一
撃によつて驅逐されんとし
てゐるが、彼等の數は豫期
せらるゝ通りまことに少な
い。

例へば、蘭印におけるオ
ランダ人は約廿一萬人、總
人口の僅か〇・三%にしか
當らず、英領マレーにおけ
る英人は約一萬五千人であ
つた。これまた人口の〇・

二%にも相當しない。開戦
以前の泰國における英米勢
力の強大さを想起すると、
當時同國における米英人の
總數が僅か五萬人程度で、
而もそのうち本國籍民は千
人足らずであつたことは全
く意外な程である。比島に
おいてはすでに述べたやう
に、マレー系住民はその九
一%以上を占める。

かくの如き少數の支配者
が、一億の民衆の上に九十
億圓の資本を以て、經濟的
に或は政治的にその搾取を
逞うしてゐたのであつて、
人口の絶對數を以て推論し
ても、その權力の強大、その
徹底的な吸血振りに驚かさ
るを得ない。

演劇挺身譜

皇奉指定演劇挺身隊報告

永年各方面に亘つて懸案され
てゐた、農村娛樂の對照である
移動演劇團が、此程漸く皇民奉
公會中央本部の斡旋によつて、
演劇挺身隊の名稱で結成され、
二月一日を期し早や第一回の巡
回公演に出發した。

健全娛樂の問題が提唱され、
娛樂の普遍化が叫ばれてゐる今
日、演劇挺身隊については、今
更言を要しないかも知れない
が、今回當地で結成されたもの
は、内地に於て行はれてゐるそ
れと幾分趣を異にしてゐる處が
ないとは言へない。勿論その趣
旨とするところは、農山漁村等

の僻地に、健全娛樂を提供し、國
を擧げて増産報國に邁進せんと
してゐる銃後職士に、明朗清純
な光明を贈り、一日の勤勞に疲
れた人達に、明日への働く力を
醸成することにあるのである
が、特殊事情下にある當地に於
ては、本島統治の根本方針であ
る皇民錬成運動の一翼として、
啓蒙宣傳、上意下達の一役を演
じてゐることは動かさない事實
である。

皇民奉公會中央本部に於て
も、之等の事務を特に宣傳部に
於て取扱ふ様になつた理由もそ
こにあると思ふ。だが、實際間

題としては、この娛樂と啓蒙宣
傳についての兩者を併立させて
行く事は、相當困難な事であ
る。

今迄、とかく「お役所する
事は固すぎて困る」といふ聲が
あつた様であるが、そこは半官
半民的存在である皇民奉公會の
仕事であるし、翻期的な計畫
として民間の支持も相當強い様
であるから、必ずや軌道に乗り
進め奉公の使命を遂げる事と思
ふ。

この新劇團として發足して二年
餘り、臺灣演劇界には定評のあ
つたものである。何れも一座は
四十數名を抱えてゐたのである
が、その中特に優秀と思はれる
者十數名宛を選び、一月十二日
臺灣神社の大前に於て、挺身隊
員としての固い誓ひを立て、引
續き大直國民精神研究所に於
て、神に仕へる十日の訓練を終
へて、文字通り身も心も、今迄
の一介の演劇俳優の觀念をかな
ぐり捨て、新しい使命を擔つて
出發したのである。

「演劇俳優」この言葉は誰でも
が、何か特異な存在でもある様
に考へ、またさういふ眼を以て
之等の人達を見て來た。内地に
於てもさうであるが、事實上之
等の人達は、普通の人達とは異
つた環境に置かれ、従つて日常

の生活等も不規則になり勝ちであつた。特に皇民として精神を錬成の途路にある本島人俳優にとつては猶更である。

純日本式に——それは我々内地人の家庭に於てさへ實踐されて居ない程の、純粹な日本式な生活の中に入つて、果して之等の人は十日の訓練を保ち得るであらうか……と、研修所講堂に於て舉行された入所式に臨んで、私はそんな危懼を抱いたのだつた。

午前六時起床、直ちに所内の清掃、朝の神前行事に於ては、正座によつて一切の雑念を去り、自然の大氣の中に、神の懐に入る。つゞいて國旗掲揚、體操、午前八時朝食、それから皇民としての自覺と修養を重ねる訓練が始るのであるが、三度の食事は

一切肉類を斷つた精進料理で、食事の作法は勿論、日常の起居振舞まで、一切日本の禮儀作法を以てするのである。

来る日も来る日も、この訓練は嚴格に行はれた。その間に於て三十數名の隊員が、どんなに訓練され、心理的にどんな躍めきを示して行つたかを、私は唯靜かに見守つてゐた。入所以來九日目の夜が来た。明日はいよいよこの訓練を終へて、晴れの修了式を舉行するといふ、その夜、一同は食堂に集つて、和やかな座談の會が開かれた。中西指導官の話があつた後、一同は久し振りに口にする茶菓に舌鼓みを打ち乍ら、打ちくつろいだ雲團氣の中に、思ひ／＼の感想を語り合ふのだつた。

「私は二日目には、もうどうし

ても逃げ出さうと思ひました。あの、講堂で行はれる正座には脚が痛くて、本當に泣き度い様な氣がしました」

正座は餘程酷へたりしく、一同口を揃へてその苦痛を申し述べるのだつたが、それでもやはり正座の味が分つて來たらしく、とにかく、じつと座る事が出來る様になつた事を嬉しく思ひ、定められた時間に於ては、充分に應へ得る様になつた事を、一大發見でもした様に、誇らしげに語るのだつた。

隊員の中に乳呑み兒を持つた女優が居た。訓練を受ける爲に、乳兒を母に預けて來たのだつたが、

「お乳が膨つて、痛くて／＼堪りませんでした。出せば後が止らないので、我慢して、先生に薬

公演申込について

1 上演内容

上演物の内容は皇民奉公會中央本部が責任を以て厳選し、演劇、紙芝居、歌謡曲等を種々取揃へて出來るだけ大衆に分り易く、而も時局下島民の心の糧となるものを選んでゐます。

なほ、用語は國語と臺灣語の何れをも使用出来る様になつてゐますから、主催者の御希望に應じます。

2 主催者

公演には先づ主催者を定める必要があります。各州廳、郡役所、庄役場、皇民奉公會支部、支會、分會、青少年團、産業組合、保甲其他の諸團體、又は個人でも差支へない課ですが、何れの場合でも各州廳皇民奉公會支部を通じて申込んで下さい。

ハ 公演日程

皇民奉公會州廳支部で主催者の希望を取纏め成可く近い地域に三十回以上の日程を立てて頂きます。

ニ 上演場所

上演場所はどんな處でも結構です。劇場のない處は、國民學校の講堂、雨天體操場、公會堂、部落集會所、寺廟又は野外でも結構です。たゞ、芝居が出来、観客が集れる場所でしたら、どんな場所でもよい事になつて居ります。

ホ 費用の負擔

主催者側の負擔する經費は

- 1 會場費
學校、公會堂、部落集會場又は寺廟等を會場として、使用料又は謝禮が必要な場合は、主催者側に於て負擔して頂きます。
- 2 公演費
劇團の公演について一日一回五十圓、一日二回(晝夜)同五十圓。

を戴きましたが、悲しくなつて、二晩泣き徹しました」

私はこれこそ尊い犠牲だと言ひ度い。まだ乳房を離れ切らない愛兒を残して、厳しい訓練を受ける母親の氣持。その女優が分けても氣立の優しい、素直な女性であつただけに、一同の前で述べられたその言葉に、私は滑らかな、尊いものを感じたのだつた。

これ等の人達に對して、私は少くとも、生活の便法として挺身隊員としての名を購ひ得たのだとは、どうしても思へなかつた。その過少の程度はあれ、過去の生活を清算し、社會的使命を帯びた公人であるといふ觀念は、人々が等しく胸に抱いてゐる響りであつた。

この響りこそ今の日本に、新

生榮滿に、そして私達に最も望ましい力である。

十日の錬成は終つた。劍潭の聖域、逞しい動行報國青年隊員の振り下す鉄の音を聴きつつ、池畔に美しい影をうつした道場を振り返り乍ら、一同は赤地に白く抜き出した「演劇挺身隊」の胸章も誇らしげに、今演劇奉公の第一歩を踏み出したのだつた。

ひとり後れて、その後姿を眺め乍ら、私は、この意

臺灣總督府情報課編

蘭領印度支那交通業明細圖

定價一圓五錢

臺灣總督府內 臺灣時報發行所 臺灣總督府電話二〇七〇番 臺灣總督府電話四九八番

氣、この氣持を願はくは未永く保持して貰ひ度いと切に、切に希望するのだつた。

かくして、二團、三十数名の挺身隊員は、地方文化の確立を日指す尖兵として、逞しくも出發したのだつた。

しかし、之等の人々の前に立はだかつてゐる現實は、真に多難である。到る處に横つてゐる困苦と解乏は、人々の氣持をどう導いて行くだらうか……自覺と使命を感じてはゐるものの、永年人々の間につちかはれて来た風習と觀念は、さう一朝一夕に改められるものではない。たつた十日の練成など、一夕にして吹き飛ばされてしまふ。たゞ有るものは、練成、練成、そして自覺である。

十日の練成によつて、人々は、一つの自覺と、皇民としての生活の、一つの型を體得する事が出来た。この型は實に刷れ易い型である。だが、人々はその型が日本人としての生活に、必要な立派な型であるといふ事は知つた等だ。今迄は、その立派な型さへ知らなかつたのである。かくして一通りその型を修得した上は、それを如何にして、立派に身につけて行くかと、此後の残された問題であり、挺身隊員としての進むべき一つの大きな道である。

一月三十日試演會は長谷川總督閣下をはじめ、各知名の士の來場を仰いで盛大に行はれ、一同元氣百倍「必ずや挺身使命を完うします」と勇躍第一回の地方巡演に出發したのだつた。

そのして来る日も来る日も、その成果を案じてみた私の處に、第一報が齎らされたのである。×月×日 岡山郡燕巢庄で上演。此處では挺身隊がどんなものであるか分らないので、きつと本島で出来たのだから、昔の臺灣芝居の改良されたものだらうと、一間四方位の舞臺を設けたに組んであつたので、閉口しました。隊員總掛りて手傳つて、午前中かゝつて、舞臺を造り直しました。上演は晝夜二回で、芝居の寸むのが、十一時頃、それから道具を繰めて寝るのが一時か二時頃です。翌朝は六時に起きて出發です。これが永く續いたら體が保ちません。

それでも、地元で喜んでくれる事は大したもので、私達が

七十圓の謝禮を申受けます。

申込書

申込書 申込書には主催者、現地責任者、希望の時日、開催地、上演回数、會場等明瞭に御記入下さい。

申込時期 申込書は皇民奉公會州廳支部で經て送付して貰ひますから、遅くとも公演日の二十日前に州廳支部に提出して下さい。

又公演日の間際になつて豫定變更、中止等の通知に接すると誠に迷惑しますから、其の點にも御注意を願ひます。

開催地の準備 州廳支部から劇團派遣の通知を受取つたら豫め所轄警察官へ公演届出を済ませ、會場、劇團、演目、時間等を適宜の方法で觀客側へ知らせ置いて下さい。

舞臺装置は劇團で致しますが

會場の設備は主催者側の受持です。から、會場で芝居の出来る程度の設備を願ひます。

公演開始 公演は正確に開始いたしまし。役員、世話人、有志等の挨拶が有りましたら、豫め御用意願ひます。公演後、會場の後片附なども主催者側で順序正しく願ひます。

なほ公演には本挺身隊が生れた趣旨からして原則として入場料會費等を取らない事がよいのですが、經費の都合で、巴むなく主催者に於て整理料を取る場合は、出来る丈廉價にして頂きたいと思ひます。

又 劇團との交渉 劇團との交渉は一切劇團責任者を通じて願ひます。劇團員個々に用事等ある場合も一通り責任者へ其旨お知らせ下さい。

舞臺を直してゐるのを村人達は朝から来て、呑氣に眺めてゐます。

×月×日 今日乗物も何もない山奥に、三里も歩いて漸くたどり着きました。此處では十年以上も芝居を見た事がない者ばかりで、その喜び方は私達の想像以上でした。何しろ挺身隊が来るといふので、村中大騒ぎ、上演場所の附近は物資等が出て、市場の様になつてゐます。一度お見せしたい位です。隊員は大いに張切つて感激してゐます。水が不自由なので、洗面には一ぱいの水を二人で使つてゐます。地元の人々大いに歓迎してくれま

す。明日は電氣のない處ださうです。

×月×日

御無沙汰して居ります。今日は小梅です。一同はりきつて居ります。餘程今迄よりはきついで居ります。しかし又面白い所もあるし、愉快にやつて居ますから御安心下さい。

到る處大好評です。大いに歓迎してくれて居ります。何處も交通が不便で、自動車の使用が悪いので、大分苦勞をしております。今日小梅を朝八時に

出て、竹崎及嘉義を經て藩路まで行つて来ました。随分急な坂を車が登ります。藩路は宿泊所がないので、嘉義に出て驛前の旅館に泊らうかと思つてゐます。藩路は電氣もない様でした。役場の前に僅か二十軒位の部落があるだけでした。

これ等が隊員によつて腐らさ

竹内 治



オーストラリア

英本國と隔離 米の援助も空し

全幅の敵 性を暴露

今わが荒鷲の果敢な爆撃にをのいてゐる濠洲即ちオーストラリアとはどんな所であるか。又何を考へてゐるか。わが精銳の攻撃を受けてゐる南印に劣らず、日本軍の作戦行動を妨害してその全幅の敵性を暴露して、大きくクロースアップされた濠洲の正體を紹介して見よう。

濠洲と云ふ國はオーストラリア島、ニュージーランド島、其の他の島嶼から構成されてゐる英國自治領であつて、内閣議會を有する準獨立國である。濠洲國中最大の島であり、その代表的存在となるものは言ふまでもなくオーストラリア島である。同國は長さ三千六百哩、幅二千哩と云ふ大きな島國であつて、今から百五十一年前、英國海賊華

やかなりし頃、殆ど夜盗か白晝強盜の様な手段で入手したのであつた。しかも最初に入植した英人は全部本國から流刑された囚人であつたとは、たゞ驚くのはない。

ト・オーストラリア(白人濠洲)とかブリテイッシュ・オーストラリア(英濠洲)と自稱してゐる如く、他の英國植民地と全く異なつた政策を採用して來てをり、總人口六百四十萬は英國人系であり、大都會に於ては門から玄關まで自動車で三分もかると云つた様な英人王國を形成して、東洋人種の入植は絕對禁止の政策を採つて來たのである。現在は當初よりの土着人は混血兒を計人しても五萬にみだない状態である。英國人以外の外人は左の通りである。

- 伊太利人 三萬(八百屋、魚屋)
- 支那人 三萬(農業)
- 獨逸人 一萬(工業)
- ユダヤ人(雜物販賣)

所謂濠洲人と云ふのは、入植英人の子孫であるが、メルボルン

附近では保守的な者が多く、シドニー近在ではアメリカ化した輕薄な者が多い。従つて首府はキャンベラに置いてある位である。

さて日本人はどの位ゐたかと思ふに、昭和十五年の調べによれば、シドニー二〇五名、メルボルン九四名、ブリスベーン三〇名、タウンズヒル一六名、オースロー一四名、イニスフエイル四〇名、ポートダーキン七八名、ジェラルトン一五名、木曜島三〇〇名となつてゐて、主として鐵業、漁業、雜役等に從事してゐる者が多く、商業は常に華僑に押され、政治力等は棄にしたくも持つてゐなかつた。

たゞ濠洲人が日本人を非常に氣にしてゐるのは、わが國の眞珠採取船が濠洲近海に來て採取

すること、濠洲以南は濠洲の營業勢力圏内であると信じてゐるにも拘らず、日本の捕鯨船は來航往航共にフリーマントルに寄港するのみで、何等利益をもたせなかつたので、嫉妬の念が大分手傳つてゐたことは否めないものである。

はわが國に輸出されてゐたのである。羊毛の輸出人は英國政府管理であつて、産出された羊毛は一端、中央羊毛委員會で買上げた上、政府の命令によつて處置されてゐたものであるが、大東亞戰爭とともに、月々二十五萬ビクトルの羊毛が輸出不能に陥り、これにより濠洲政府は一大財源を失つたことになるのである。

濠洲の産業

濠洲産業の主要なものは、何と云つても羊毛、小麦、並びに各種の礦物資源であるが、勞力不足と云ふ致命的な缺陷があつた。こゝに同國の資源に就いて極く大綱みに述べて見よう。

一、羊毛
全島を通じて概算して一億一千萬頭以上の羊が飼養されてをり、羊毛は一年間に三百萬ピクトルを産出し、その八十萬ピクトル

二、小麦
第二位は小麦であつて、生産の過半数は日本向けに輸出(年五十萬噸)されてゐたものであるが、これは濠洲政府管理の下に「濠洲小麦協會」が一端買上げてゐたのである。尙小麦の産地としてはニューサウスウェールズのビクトリア州北部が有名である。

三、金
金額は全島到處に散在してをり、年産千四百萬濠洲ポンド(約二億圓)と云はれてゐる。

四、石炭
石炭の産出も極めて豊富であり、そのため火力發電がよく普及してゐる。主産地はニューサウスウェールズ、ヤラウン(メルボルン東方百哩、ビクトリア州内)であるが、殊に後者の藏炭量は四百億噸と計算されてをり、現在一年間の出炭量は千二百萬噸であり、この地に二十萬キロの火力發電所が併設されてゐる。

五、鐵
鐵は政府が輸出禁止してゐる物資の一であるが、南部ノブの如きは年産百萬噸の礦山がある。この他濠洲には全島がすべ

て鐵山であると云はれる島々が多数あるのである。

ポルト・ダーオンを去る六百哩のヤンビー・サウンドには埋藏量一億噸と云はれる赤鐵礦が伏在してをり、「日本鐵業」が五百萬圓投資を計畫したことがあ

濠洲の苦惱

金融は一切英國依存である。

その理由は同國の輸出入の六割以上が英國との間に取引されてゐるからだ。しかしこのことは濠洲は英國のものか濠洲のものかと、英國依存派と濠洲國家主義者との間で盛んに論議の的となつてゐる。

この英國依存派とは主として支配階級に屬するもので、英本國第一主義であることは云ふまでもない。濠洲國家主義者は、所謂青年層學生層に多く、濠洲第一主義をとり、濠洲の安全が確保されるのならば、英本國と隔離してもよいと云つてゐる。これ等の中には濠洲の敵は恐ら

く日本であらうが、仲良くすれば攻撃して来る理由はないと樂觀してゐる分子が多かつた。従つて反英分子はすべてこの國家主義に屬する者が多いのである。

カーチン首相は勞働黨出身であり、元來國家主義に屬する珍らしい性格の人物で、アンザツク(濠洲新西南混成軍)の遠征派遺反對論者であつたが、日本は決して立たぬと英本國に欺かれて、兵を十五萬も香港、馬來に送り、慘々敗戦の憂目にあはされ、今更の様に英本國の仕打ちを怨んでゐる。そればかりか、香港は愚か、シンガポールにさへも援兵を送らなかつた英本國が、ウェーベルを南太平洋軍總司令官に任命したことを、自分を無視した仕打だと、大いに不満の意を洩してゐる。又最近ほ

英本國との隔離を承知の上で、米國と手を握らうとして濠洲に不足するガソリンや飛行機の供與方を懇請してゐるが、米國にしてみれば、今のところ夜を日につく敗戦に、軍需品の餘裕などあらう筈がなく、カーチン首相の苦惱はいよいよ深刻になつたと傳へられてゐる。

昭和十七年三月十五日發行
發行所 東京 加藤 豊吉
東京市東區本町二丁目三番地
小坂本店印刷工場
電話 二〇七〇番

内地方面より廣告掲載御希望の向きは左記へ御照會を乞ふ
大阪市東區高麗橋三ノ十一
廣告掲載「南伸社」
東京市東區本町二丁目三番地
電話 北一八四三・一八四六

一回一錠で快通正確頭腦明快

頭重、耳鳴、逆上

便秘症に

確信を以て推奨する

腦神經鎮靜・緩和・下劑
明特許 莫拉錠

本劑「モラ」は従前、僅か一錠の服用で、五時間乃至八時間後に快通な自然の軟便を大量に排泄し、腸内の積滯は全く消滅する。然もこれと同時に、腸管の蠕動作用を併せて養ひ、腹痛、嘔吐、逆上、眩暈、耳鳴等を明確に解消し、腸管の兩位縮窄なるを解除す。故に「モラ」は、便秘の最高治療劑として醫學界未曾有の發明藥

劑にして、その特長は、内服後、胃及び小腸では固閉快劑としての作用を養ひ、大腸に至つて初めて排便作用を發揮する。即ち一劑を以て「便通」と「頭腦明快」の二作用を迅速且つ正確に發揮し更に胃及び小腸に於て下劑の作用を起さぬ結果、藥害の吸收を全くさまたげない。従つて「モラ」は従来の下劑の

如く通用による藥害の毒り全然無く、且つ腹痛を伴はず、此點に本劑の發給特許たる證據が決定的に確證せられたのである。今や本劑の出現によつて「下劑」の最善水準は決定的に到達せるに至つた。之れ本劑を推薦する所以である。

學價、十七錠一圓、六十錠三圓
折價にて五分折の贈品に届切
れの箱は四錠裝九へ

文献進呈

御希望者に文獻進呈、左記郵費
元へ御申込を。

東京市日暮區上白根
八丁目一五三ノ六〇
東京生化學研究所
電話 東京 北二八四五番
郵便 東京 一四九六一八番

東京大阪田邊商店

呼吸器の補強剤

結核に罹らぬよう

ニミタビ性溶脂

ご服用の皆さまに
石上にはお費用
を五百粒入りと

体力強化を養ふために
は、毎日一―二粒のハ
リバを連用して体内に
充分な脂溶性ビタミン
を供給し皮膚や呼吸器
の防衛力を強化するこ
とが最も効果的です。

包装 五百粒

東京大阪田邊商店

ハ
リ
バ